

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名> 下垂体神経内分泌腫瘍における汎用的かつ最適な術後の入院期間を明らかにする研究
<研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 脳神経外科 (研究責任者) 山室 俊
<研究期間> 承認日 ~ 令和 6 (西暦 2024) 年 12 月 31 日
<研究の目的と意義> 当院では下垂体神経内分泌腫瘍の外科的治療として、内視鏡下経蝶形骨洞手術を行っています。下垂体神経内分泌腫瘍の多くは術後の後療法を要することがなく、また、後療法が必要な場合であっても外来で行うことが可能であるため、手術を施行された患者様の多くは数日~数週間で退院し、短期間のうちに社会復帰されます。そのため、手術を受ける患者様にとって、術前に具体的な入院期間が分かることは有益です。しかし、下垂体神経内分泌腫瘍の術後には様々な一過性の合併症が生じ得ることから、術前に汎用的かつ最適な入院期間を明示することは難しいのが実情です。そこで、当院で治療を受けた患者様のデータを収集することで、入院を延長させた事象および術後何日目にその事象が生じたかを解析し、最適な入院期間ならびに入院期間が長期化する患者様因子を特定することを目的に、本研究を行います。
<利用する試料・情報の項目> 診療記録より、年齢、性別、MRI 画像、手術中の所見、血液検査データ、治療（内服薬）の内容、転帰の情報を使用いたします。
<対象となる方> 西暦 2015 年 4 月 1 日~西暦 2024 年 3 月 31 日の期間に、脳神経外科で下垂体神経内分泌腫瘍の手術を受けられた方が対象となります。
<研究の方法> 診療録から上記の項目の情報を収集させて頂き、入院期間との相関関係を統計学的に解析いたします。
<お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院 (東京都板橋区大谷口上町 30-1) 脳神経外科 氏名：山室 俊 電話：03-3972-8111 内線：(医局) 2481 (PHS) 8225